3. 事 業 の 概 要

本年度の水道事業は，「仙台市水道事業基本計画（令和2年度～令和11年度）」と，その実施計画に当たる「仙台市水道事業中期経営計画（令和7年度～令和11年度）」に基づき，「水道システムの最適化」，「持続可能な経営」，「関係者との連携強化」に取り組みながら，お客さまが実感できる良好な水質の実現と水道水の安定供給に努めてきた。

事業実績については，年間総配水量が1億1,929万3千立方メートル，前年度比22万2千立方メートル（0.2%）減，年間有収水量が1億1,249万8千立方メートル，前年度比8万6千立方メートル（0.1%）減となり，有収率は前年度より0.1ポイント向上し94.3%となった。

経営面については，アセットマネジメントによる施設の適切な維持管理や老朽化した管路の更新，水需要に合わせた施設の再構築など，経営基盤の強化に向けた取り組みを進めた。

建設改良事業については，配水管整備事業で，配水支管の更新工事などを行い，事業費83億7千8百万円を支出し，配水管延べ36,985メートルを布設した。また，施設整備事業では，福岡取水場をはじめとした各種施設の耐震補強工事，配水機能強化のための茂庭配水幹線への不断水仕切弁設置工事，非常用自家発電設備の更新工事等，災害・安全対策関連事業を進めるなど，事業費36億6千9百万円を支出した。

財政状況については，収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）において，総収益278億3千3百万円に対し，総費用246億9千2百万円で，差引31億4千1百万円の純利益となった。

今後は，人口減少に伴う水需要の更なる減少が見込まれる中，拡張期に集中的に整備してきた施設の老朽化対策に加え，管路の耐震化など大規模地震をはじめとした様々なリスクへの対応を進めていく必要がある。引き続き，計画的かつ効率的な事業運営による経営基盤の強化を図り，安全で良質な水道水を安定的に供給していくことを通じて，一層信頼され，地域社会の発展に貢献できる水道事業の運営に努めていく。